（平成28年熊本地震関連）

平成28年４月14日及び16日に発生した平成28年熊本地震による主な影響は以下のとおりであります。

１．熊本地震復旧等予備費及び平成28年度補正予算（第２号）の措置による災害復旧事業及び授業料免除事業

平成28年熊本地震により被災した教育研究診療用施設・設備の復旧及び被災学生の修学機会確保に充てるため措置された熊本地震復旧等予備費及び平成28年度補正予算（第２号）「施設整備費補助金及び運営費交付金」の実施状況は次のとおりであります。

（災害復旧分）

運営費交付金　交付額　8,362,101,000円、当期振替額　8,362,101,000円、期末残高　０円

施設整備費　交付額　1,229,443,751円、当期振替額　1,229,443,751円、期末残高　０円

（授業料免除分）

運営費交付金　交付額　70,190,000円、当期振替額　70,190,000円、期末残高　０円

２．固定資産の減損

熊本県熊本市中央区の工学部１号館他については、被災により現在、使用不可能な状態にあるため、減損の兆候が認められております。

なお、これら固定資産の減損に関する詳細は、「Ⅴ．減損会計関係」に記載しております。

３．災害損失

損益計算書の臨時損失に計上されている災害損失は、全て平成28年熊本地震によるものであり、その内訳は以下のとおりであります。

固定資産除却損	94,559,462円
建物等の原状回復に要した修繕費	173,978,537円
建物等以外の原状回復に要した経費	1,001,948,087円
被災に伴い免除された授業料等見合いの損失	185,240,940円
その他、災害を起因として発生した損失	316,573,026円

Ⅰ．貸借対照表関係

１．担保に供している資産及び対応する債務

担保に供している資産　土　地　7,479,000,000円

建　物　18,304,341,741円

構　築　物　159,790,989円

対応する債務　長期借入金　21,791,630,000円

（一年以内返済予定長期借入金を含んでおります。）

２．運営費交付金により財源措置が行われるため賞与引当金の対象外とした引当外賞与の見積額は、1,279,980,007円です。

３．運営費交付金により財源措置が行われるため退職給付引当金の対象外とした退職給付債務の見積額は、13,204,786,734円です。

４．保証債務

独立行政法人　大学改革支援・学位授与機構に対する債務保証額　6,213,236,081円

５．利益剰余金のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するもの

⑴　国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの

附属病院に関する借入金の元金償還額の累計	31,003,381,117円
当該借入金により取得した資産の減価償却費の累計	30,253,054,493円
利益剰余金に与える影響額（差引き）	750,326,624円

⑵　国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの資産見返物品受贈額戻入が二重になっていることによるもの

法人移行時に国から承継した資産見返物品受贈額のうち、対応する資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する資産見返物品受贈額戻入額の累計　991,678,179円

⑶　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる未収附属病院収入のうち、国からの出資でなく譲与としたことによるもの　403,415,066円

⑷　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる医薬品及び診療材料について、国からの出資でなく譲与としたことによるもの　229,839,228円

2,375,259,097円

Ⅱ．損益計算書関係

１．当期総利益のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するもの

⑴　国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの

附属病院に関する借入金の元金償還額	2,535,081,311円
当該借入金により取得した資産の減価償却費	2,218,119,562円
当期総利益に与える影響額（差引き）	316,961,749円

⑵　国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの資産見返物品受贈額戻入が二重になっていることによるもの

法人移行時に国から承継した資産見返物品受贈額のうち、対応する資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する資産見返物品受贈額戻入額　292,347円

317,254,096円

Ⅲ．キャッシュ・フロー計算書関係

１．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金勘定	18,777,565,172円
定期預金	△5,100,000,000円
現金及び現金同等物	13,677,565,172円

２．重要な非資金取引

現物寄附の受入れによる資産の取得	391,911,851円
ファイナンス・リースによる資産の取得	2,166,301,044円

Ⅳ．国立大学法人等業務実施コスト計算書関係

引当外退職給付増加見積額のうち、△52,222,061円は、地方公共団体からの出向職員に係るものであります。

Ⅴ．減損会計関係

１．減損の認識

当事業年度において、以下の資産について減損処理いたしました。

⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要　（単位：円）

用途	種類	場所	帳簿価額	備考
自然科学研究科工の研究等	建物	熊本県熊本市中央区黒髪２丁目39番１号 自然科学研究科工 工学部１号館	558,295,365	
自然科学研究科工の研究等	建物	熊本県熊本市中央区黒髪２丁目39番１号 自然科学研究科工 エコロジーシステム実験室	1,758,397	